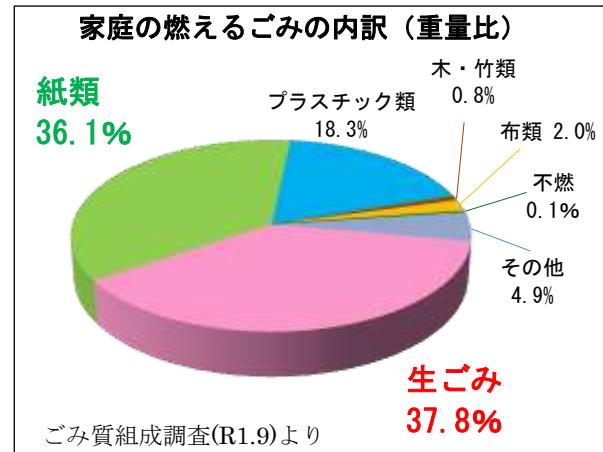


ごみ減量の推進 ① 生ごみ

家庭からでるごみのうち、80%が燃えるごみです。そのうち、生ごみの割合は38%、紙ごみの割合は36%を占めています。佐賀市では、特に割合の多い生ごみと紙ごみについて、重点的に減量を推進しています。



① 生ごみ等減量促進事業

NPOへ委託し、市内各地で生ごみ減量の講座を実施しました。定期講座のほか、相談・サポートにも対応し、生ごみ減量の取組みが継続するように、指導を行いました。

『NPO 法人 循環型環境・農業の会』の取組み

米ぬかぼかしを使った生ごみ堆肥化やダンボールコンポスト、生ごみ堆肥を使った野菜づくり・花づくりなど、楽しみながら取り組める方法を紹介しました。

講座：66回、1,747人参加

サポート：312回、321人対象



② 家庭用生ごみ処理容器等購入補助



生ごみの減量と資源化のため、家庭用の生ごみ処理容器等の購入費補助を行っています。

◎ 補助内容

生ごみ処理容器（母材を含む）の購入金額の半額、上限3,000円まで。

1世帯につき2基まで対象。ただし、電動式のものは除く。

※ 諸富町、三瀬地区の方は、脊振共同塵芥処理組合の制度により、
購入金額の半額、上限5,000円まで補助されます。

◎ 令和元年度実績

98件に対し、15.7万円を補助しました。



③ 使用済み天ぷら油（廃食用油）のリサイクル



使用済み天ぷら油を、スーパー
や公民館などにある回収ボックス
に出してください。

佐賀市清掃工場で、バイオ
ディーゼル燃料に生まれ變
わります。

バイオディーゼル燃料は、
市営バス等の燃料として使用し
ます。

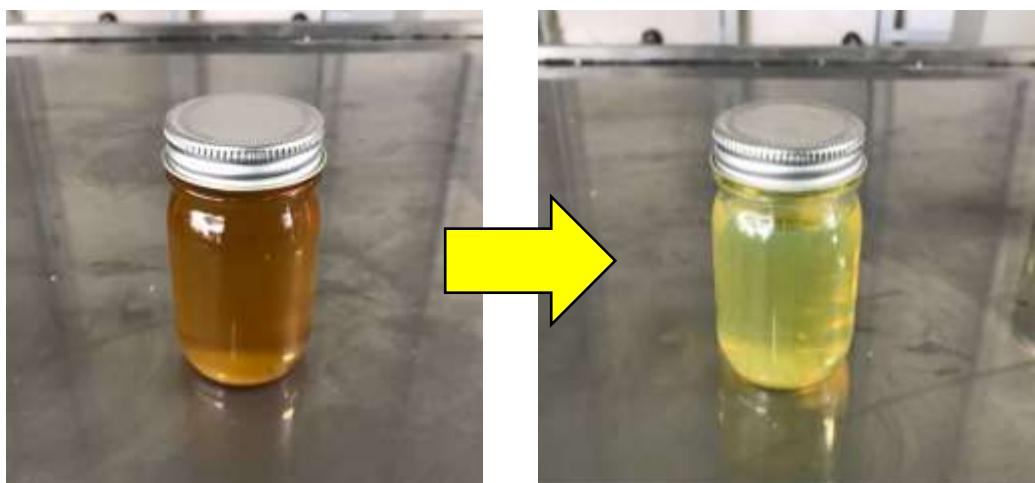
不用になった植物性油を回収して、軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料に再生してい
ます。天ぷら油のリサイクルには、ごみの減量や資源の有効活用、地球温暖化抑制などのメリッ
トがあります。

令和元年度は 123,150 リットルの油を回収し、再生した 10,800 リットルのバイオディ
ーゼル燃料を使用しました。この量は、約 28 トンの二酸化炭素削減効果にあたります。



【高品質バイオディーゼル（H i BD）燃料の精製】

使用済み天ぷら油（廃食用油）からバイオディーゼル燃料を精製する装置が新しくなりました。これまで
のバイオディーゼル燃料（BDF）は、軽油の代替燃料で平成 15 年式以前の車両にしか使えず、使用でき
る車両が限られていきました。しかし、新たな技術で精製される高品質バイオディーゼル燃料（H i BD）は
軽油と同等質の燃料に生まれ変わり、新型車両にもつかえるようになります。今後も、市営バスなどの燃料
として使用していきたいと思います。



天ぷら油（原料）

H i BD（精製燃料）